

平成26年度文部科学省「地(知)の拠点整備事業」(大学COC事業)  
 京都文教大学COC事業「ともいき研究」共同研究プロジェクトの一般募集(平成30年度)について  
**地域課題に取り組む地域の皆さんと、本学教員との「協働研究」を募集!!**

本事業は、自治体職員、団体・企業、地域住民と本学教員による「住民参画型」ならびに「産官学協働型」の共同研究です。地域福祉・子育て支援(家庭児童福祉・保育)・学校教育(小中高大連携・郷土教育・観光学習など)・メンタルヘルス(復職支援・自殺予防など)、観光、商店街、まちづくり、中小企業研究・地場産業、都市経営等のテーマにおいて、地域課題解決に取り組む共同研究を募集します。

● **申請期間** 2018年2月13日(火)～2018年3月12日(月)

● **募集対象**

(1)「住民参画型」共同研究…(Ⅰ)30万円(上限/1年間)【3件募集】、(Ⅱ)50万円(上限/1年間)【1件募集】

地域住民とともに地域ニーズを汲み取り、地域住民が主体となり地域志向研究に継続的に取り組める仕組みづくりを推進し、地域課題に取り組む研究に対し、経費補助を行います。

(2)「産官学協働型」共同研究…(Ⅰ)30万円(上限/1年間)【3件募集】、(Ⅱ)50万円(上限/1年間)【1件募集】

本学・企業・行政が連携し、各々の領域において単独で解決が困難である地域課題に対し、それぞれのリソースを持ち合わせることで新たな解決方法を模索する研究に対し、経費補助をいたします。

※研究期間は、2018年5月1日から2019年3月31日までとし、研究成果を還元する地域は、京都府宇治市、京都市伏見区とします。  
 ※政治・宗教・営利を目的とする事業等は対象になりません。

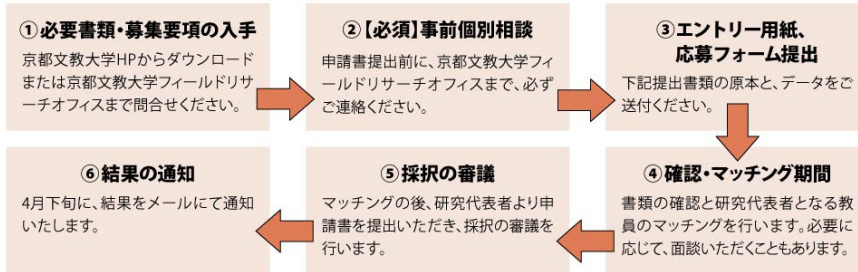
● **対象者・団体**

(1)「住民参画型」共同研究：京都府宇治市、京都市伏見区に居住または当該地域での活動に取り組む地域住民等

(2)「産官学協働型」共同研究：自治体・企業・各種法人団体・研究者等

※必ず本学教員が研究代表者をつとめることを条件といたします。書類提出後、本学教員とのマッチングを行います。

● **応募までの流れ**



- **提出書類**
- (1) 京都文教大学 研究<地域志向> エントリー用紙
  - (2) 必要事項を記入した所定の応募フォーム
  - (3) 所属する団体の概要がわかる資料やこれまでの活動歴の資料
- 以上、3点を下記まで電子データと現物を提出ください。

- ※書類を提出する前に、必ず「ともいき研究」の募集要項をご覧ください。
- ※書類を提出する前に、必ず京都文教大学フィールドリサーチオフィスへご相談ください。
- ※申請書類提出後、本学教員とのマッチングを行います(内容によっては、マッチング不調の場合や申請書類が受理されない場合もあります。ご了承ください)。
- ※申請状況等により、上記の上限金額、採択件数は変更となる場合があります。
- ※申請に際してご提出いただいた書類は、すべて返却いたしませんので、予めご了承くださいませようお願い申し上げます。

こんな方はぜひ、お問合せください!

- 地域活動に取り組む中で、課題を抱えており、解決方法を模索している方
- 地域活動に取り組む中で、地域課題や地域ニーズの把握、課題分析等の調査や研究に取り組みたいが、方法がわからない方
- 本学のリソースを活用し、本学教員と協働して地域課題や研究に取り組みたい方

● **お問合せ・提出先**：京都文教大学フィールドリサーチオフィス(E-mail : fro@po.kbu.ac.jp)

京都文教大学 地域協働研究教育センター

ともいき vol.14  
 ニュースレター TOMOIKI 2018年2月発行

「京都府南部地域 ともいき(共生)キャンパス」でのさまざまな活動をお伝えします。

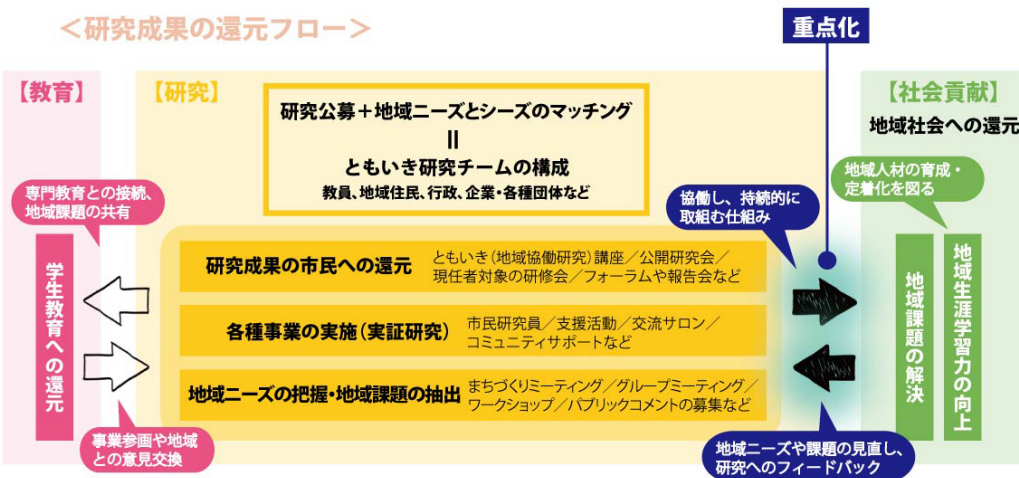


地域ニーズの把握や地域生涯学習力の向上など幅広く展開

# 「ともいき研究」などの研究成果の還元

「ともいき研究」ならびに「地域志向協働研究」では、地域パートナーと共に地域課題の解決に向けた研究に取り組んでいます。2014年は「制度設置・試行」、2015年度は「協働研究の充実」、2016年度は「量的拡大・見直し」、2017年度は「質的向上・制度改善」を行い、研究を推進してきました。COC事業が4年目を迎えた本年度は、社会還元を重点化した研究の質的向上を図るため、ともいき講座などの実施を研究採択の要件としました。それらに伴い、まちづくりミーティングをはじめ、ワークショップやグループミーティングなど、様々な形で地域ニーズの把握、現存者向けの研修会や公開研究会など研究テーマの特性に即した講座を実施し、地域生涯学習力の向上を図っています。また学生も研究活動に携わることで、地域課題と自らの学びを接続し、教育へ還元しています。地域ニーズの把握、地域課題の解決への実践、地域生涯学習力の向上、学生教育、それぞれが相互につながり、スパイラルアップする仕組みを目指しています。

## ＜研究成果の還元フロー＞



地域と協働し、地域に還元する

# ともいき研究・地域志向協働研究



### まちづくりミーティング

研究名 精神に「障がい」のある本人とその家族(ケアラー)への情報提供と支援に関する実践的研究



「アディクション(嗜癖)と付き合いながら生きる～本人・家族とともに考える～」を12月18日に開催。ダルク施設長による講演、本人と家族の体験談の後、当事者を交えたグループで、各々の体験談や質疑応答を通して、嗜癖問題を抱えながらの共生について話し合いました。

### COCともいき研究 市民研究員

研究名 地域コミュニティ活性化推進のための改革施策実施にむけた検討研究



市民にも研究参画を幅広く促し、本研究では宇治市高齢者アカデミー生(現役生・卒業生)が研究に取り組んでいます。宇治市におけるコミュニティ施設、集会所の活動実態をテーマに調査を行いました。市民目線での考案を目指します。

### 研究視察

研究名 持続可能な地域社会の形成における市民主体型協働組織の環境まちづくり活動による効果～ecoつ宇治の活動を例に～



1月24日に、研究分担者の宇治市環境企画課職員とecoつ宇治会員と共に、滋賀県「小舟木エコ村」を視察。この地域では、基本理念の「エコ村憲章」に基づいて、地域全体でのまちづくりを行っており、持続可能な地域社会づくりについて調査しました。

### ワークショップ「やさしい日本語を学ぶ:防災編」

研究名 グローバル化時代における地域の国際協力のあり方を探る



災害が起こった時に有効とされる、簡単で外国の方にもわかりやすい「やさしい日本語」を学ぶワークショップを実施。留学生支援や国際交流に携わる団体の方や防災活動に取り組む学生たちが参加し、災害時の外国の方への対応について理解を深め、ディスカッションしました。

## ＜2017年度 ともいき研究・地域志向協働研究 一覧＞

研究区分	研究名	研究代表者	(所属)
ともいき研究助成事業(住民参画型/産学協働型)	A グローバル化時代における地域の国際協力のあり方を探る	松田 凡 教授	(総)
	B 京都府南部地域における障がい者の就労支援に関わる研究	吉村 夕里 教授	(臨)
	C まきしま絆の会、宇治市、京都文教大学が紡ぐ地域連携の創造 —地域と結びつく親と子の絆づくり、子どもへの学習支援—	寺田 博幸 教授	(臨)
	D 記者体験活動により地域の子どものためのシティズンシップを育成する研究	橋本 祥夫 准教授	(臨)
	E 宇治市における「ものがたり観光」の定着と振興	片山 明久 准教授	(総)
	F 宇治・伏見における地域防災に関する連携	澤達 大 准教授	(総)
	G 地域コミュニティ活性化推進のための改革施策実施にむけた検討研究	森 正美 教授	(総)
	H 宇治市認知症アクションアライアンスに関する当事者研究 —「認知症の人にやさしいまち・うじ」の実現に向けて—	平尾 和之 教授	(臨)
	I 精神に「障がい」のある本人とその家族(ケアラー)への情報提供と支援に関する実践的研究	松田 美枝 講師	(臨)
	J 持続可能な地域社会の形成における市民主体型協働組織の環境まちづくり活動による効果～ecoつ宇治の活動を例に～	石田 浩基 専任研究員	(地)
地域志向協働研究	K 多文化多世代共生の地域コミュニティを考える —大学・事業者・住民連携によるニュータウンまちづくり推進事業を中心とした実践的研究	杉本 星子 教授	(総)
	L 宇治市における観光の質的向上策検討研究—インバウンド対応の質的向上を中心に	森 正美 教授	(総)
	M 高齢者ケアに焦点をあてた多職種相互乗入型の研修プログラムの開発に関わる研究	吉村 夕里 教授	(臨)
	N 「遊び」を介して行う、子育て・子育てのフィールドワーク研究	柴田 長生 教授	(臨)
	O 「宇治学」副読本作成による地域協働型教材開発と評価・改善に関する実証的研究	橋本 祥夫 准教授	(臨)

※ (総) = 総合社会学部 / (臨) = 臨床心理学部 / (地) = 地域協働研究教育センター

### 向島団地大学・ミニゼミ

研究名 多文化多世代共生の地域コミュニティを考える  
—大学・事業者・住民連携によるニュータウンまちづくり推進事業を中心とした実践的研究



地元住民が講師となり、地元住民が必要と思うテーマを話し合い、地域へ活かしていくことがこの講座の特徴です。今年度は「地元活性化のイベント」「地域メディアの作り方」「地域情報の発信方法」などをテーマに開講しました。

### 子育て支援プロジェクト

研究名 まきしま絆の会、宇治市、京都文教大学が紡ぐ地域連携の創造  
—地域と結びつく親と子の絆づくり、子どもへの学習支援—



週1回、コミュニティカフェ「Reos横島」にて、本学小学校教員養成コースの学生たちと教員と「Reos横島」スタッフによる、小学生を対象とした学習支援と保護者への支援に取り組んでいます。またこの活動を契機に「子ども食堂」の実施と、新しい展開も生まれています。

### 大学れもんカフェ

研究名 宇治市認知症アクションアライアンスに関する当事者研究  
—「認知症の人にやさしいまち・うじ」の実現に向けて—



認知症の当事者や家族から構成する当事者チームに、協力者、学生などを加えて、定期的にグループミーティングを実施しています。そこの話し合いを踏まえて、12月9日に「大学れもんカフェ」を行い、認知症当事者・地域住民・学生などが交流する機会を創出しました。

### 子ども記者クラブ

研究名 記者体験活動により地域の子どものためのシティズンシップを育成する研究



洛南タイムス社と城南市民活動支援センターと本学が協働して実施しています。記者によるレクチャーや企画会議を経て、京都府南部地域の取材や記事を作成し、地元紙「洛南タイムス」へ掲載されます。子ども記者体験活動を手法として、地域への愛着や関心の向上を図ります。

# COC事業ともいき講座・京都文教大学公開講座

## 1. ともいき講座・地域志向協働研究による講座

ともいき研究ならびに地域志向協働研究の研究成果を地域へ還元するために、各研究会による地域を志向した公開講座「ともいき講座」等を開催しています。今年度は、28講座(実施予定含む/昨年度開講数:15講座)を実施し、幅広く地域へ成果還元を目指しています。

開催日	講座名	開催日	講座名
1 6月20日	<b>K</b> 向島団地大学・ミニゼミ ～向島秋の祭典について～	15 12月15日	<b>G</b> つながり・居場所・地域の未来 リレー講座 第3回 みんなが安心して暮らせるまちにしようやないかin宇治 ～神戸市真野地区に学ぶまちづくりの極意
2 7月5日	<b>I</b> 若者の自死について遺族とともに考える集い	16 12月18日	<b>I</b> アクション(嗜癖)と付き合いながら生きる ～本人・家族とともに考える～
3 7月18日	<b>K</b> 向島団地大学・ミニゼミ ～向島ニュータウン中央公園について～	17 12月19日	<b>K</b> 向島団地大学・ミニゼミ ～「向島まつり」ホームページ活用講座～
4 7月29日	<b>B</b> 研修会 「障害当事者の教育参画の可能性について」	18 1月13日	<b>A</b> やさしい日本語を学ぶ
5 8月20日	<b>E</b> 宇治「ものがたり観光」連続講座 第1回 先人たちはいかにして源氏物語を楽しんできたか	19 1月14日	<b>D</b> 記者講座
6 8月22日	<b>K</b> 向島団地大学・ミニゼミ ～まちづくりとタウン誌～	20 1月20日	<b>H</b> 丹野智文さんとともに学ぶ 「認知症の人にやさしいまち・うじ」
7 9月24日	<b>D</b> 記者入門講座	21 1月28日	<b>N</b> 保育写真撮影発表会「ありのままを捉える」
8 10月21日	<b>K</b> まちづくり講座「桃山城開門の理由!!」	22 1月29日	<b>G</b> つながり・居場所・地域の未来 リレー講座 第4回 「多様な人々がともに暮らす地域のあり方」
9 10月30日	<b>G</b> つながり・居場所・地域の未来 リレー講座 第1回 「地域のつながり・居場所から地域の未来を考える」	23 2月4日	<b>M</b> 認知症ケア公開研修会
10 11月2日	<b>F</b> 熊本地震における避難所と、 障がい者を受け入れたインクルーシブな運営	24 2月17日	<b>D</b> 子ども記者クラブ成果報告会
11 11月27日	<b>G</b> つながり・居場所・地域の未来 リレー講座 第2回 「町を住みこみすー超高齢社会の居場所づくり」	25 2月19日	<b>G</b> つながり・居場所・地域の未来 リレー講座 第5回 「フューチャー・デザインで考える地域コミュニティの未来」
12 12月9日	<b>L</b> フォーラム「宇治の観光を考える」	26 2月20日	<b>O</b> 宇治学フォーラム ～「宇治学」副読本を活用した『宇治学』の実践～
13 12月9日	<b>H</b> 認知症とともに生きる 「認知症の人にやさしいまち・うじ」の実現に向けて	27 2月24日	<b>E</b> 宇治「ものがたり観光」連続講座 第2回 「源氏物語」の観光まちづくり
14 12月9日	<b>C</b> 小学生わくわく体験	28 年度内 実施予定	<b>J</b> 持続可能な地域社会の形成における市民主体 型協働組織の環境まちづくり活動による効果 ～ecoット宇治の活動を例に～

※●アルファベット=研究No (P.1研究一覧参照)

## 2. 京都文教大学公開講座

今年度は公開講座のリニューアル化を図るため、過去受講生を対象にアンケートによるニーズ調査を実施しました。アンケートでは、(1)大半の回答者が「仏教」に関心があること、(2)「まちづくり」「観光」「心理」「福祉」への関心が高いこと、(3)半数以上が「体験型」まち歩き型などの実践講座を希望しているとの結果が見受けられました。この結果を受けて、今年度は「仏教」「気功」「まちづくり」をテーマに3講座を開講し、のべ419名の方々に受講いただきました。なお、アンケートに寄せられた意見には、社会人の学び直しの機会として、リカレント講座の実施を望む声もみられました。検討を行った結果、2018年度の開講を目指して準備をしています。

開催日	講座名	各回のテーマ
10月6日～11月14日	<b>日本の中の仏教文化 (全4回)</b> 林 雅清 (臨床心理学部 准教授)	I. 日本語に埋もれた「仏教語」 II. 日本の葬送儀礼と仏教 III. 仏像の種類と見分け方 IV. お経と念仏の違い
10月6日～12月1日	<b>気功入門講座 (全4回)</b> 濱野 清志 (臨床心理学部 教授)	I. 気とは何か II. 「立つ」こと、「座る」こと III. 五臓と交流する IV. 靈元功を学ぶ
10月23日～11月13日	<b>まちづくりゼミ (全3回)</b> 石田 浩基 (地域協働研究教育センター 専任研究員)	I. まちづくりの基本を学ぶ II. まちづくり企画を考える III. まちづくり企画を表現する

## 2017年度 講座

ピックアップ!

### ◎「つながり・居場所・地域の未来」リレー講座 (全5回)

研究名: 地域コミュニティ活性化推進のための改革施策実施にむけた検討研究

町内会・自治会、福祉や防災などの様々な団体が地域活動に取組まれているが、少子高齢化や価値観の多様化等を背景として、担い手不足等の課題があり、地域のつながりが希薄化しているところも見受けられます。こうした中、様々な視点から地域のつながりを考える機会として、第1回「地域コミュニティの課題と活性化」、第2回「高齢者社会とまちの居場所」、第3回「神戸市真野地区に学ぶまちづくり」、第4回「障がい者と共に生きる」、第5回「『フューチャー・デザイン』で地域コミュニティを考える」をテーマにリレー講座を開催しました。



ともいき講座

アンケートより!

各回につきアンケートを実施し、いずれの回も高い満足度を示しています。また受講理由として、「地域活動に関心がある」「まちづくりに関心がある」「今後の活動に役立つ」「町内会・自治会や地域で活動する団体等で役職についている」との回答者が大多数を占めています。地域ニーズとのマッチングを図りながら、各回の内容に即したアンケート調査を実施し、講座のブラッシュアップと研究へのフィードバックを行っています。

### ◎認知症とともに生きる「認知症の人にやさしいまち・うじ」の実現に向けて

研究名: 宇治市認知症アクションアライアンスに関する当事者研究

2025年には人口の3分の1が高齢者が占め、その内5人に1人が認知症を患うと予想されています。認知症とともに生きる社会の実現に向け、理解を深め「自分事」としてアクションを起こすことが求められています。当日は認知症当事者の中西美幸さんとご家族の俊夫さんを招き、発病時のことや家族間の苦悩、仲間との出会いなどをお話いただきました。俊夫さんから「100人の支援者がいる。認知症になったからこそ出来た人のつながり」「認知症を患うことで出来なくなることはあるが、出来ないところはフォローすれば出来る」と話され閉会しました。



ともいき講座

アンケートより!

「認知症のイメージ」として、受講前は物忘れや徘徊、自身や他人のことがわからなくなる、介護が大変、孤独など、受講後には、「(俊夫さんから)当事者は変われないから介護者が変わればよい」といった周囲の理解や当事者が認知症であることをオープンにできる環境づくりなどの地域との協力の必要性などが挙げられていました。受講者からは、認知症の理解のため講座の継続実施を望まれる声も寄せられています。

### ◎小学生わくわく体験

研究名: まさきま絆の会、宇治市、京都文教大学が紡ぐ地域連携の創造

「子育て支援プロジェクト」(子どもへの学習支援)の特別版として、「小学生わくわく体験」を実施しました。本学教育福祉心理学科の教員や小学校教員養成コースの学生たちが、「国語」「算数」「理科」「生活」の4つのテーマで、学生が自らの学びを活かし、子どもたちが楽しみながら教科を学び、関心を深めることを目指して、「ことば遊び・かるた」「おもしろ算数ワールド」「わくわく理科体験」「手作り工作あそび」などを行いました。またご家族も子どもが学ぶ姿を見て、子どもの学習支援について学びを深める1日となりました。



ともいき講座

アンケートより!

「先生たちに優しく教えて貰ってとても良かったです」「学生さんと子どもが触れ合っているのを見て、どのように接したら一緒に楽しめるか、子どもが参加しやすいようにどんなふうに話しかければいいのかが、学べた気がします」「子どもたちが毎年参加できるように内容は少しずつ見直す方がいいかと思いました」と、内容の評価と次年度の改善点についてご意見を頂戴しました。

### まちづくりゼミ

講師名: 石田浩基(京都文教大学地域協働研究教育センター専任研究員)

まちづくり活動を学ぶ、をテーマにゼミ形式で全3回実施しました。第1回目は、「まちづくり」という言葉の意味、まちづくりの一例と背景や地域課題、まちづくりに関わる人などまちづくりの概要の講義と「理想のまちワーク」が行われました。第2回目では、まちづくり活動の事例と話し合いの手法についての講義が行われ、京都の観光地をテーマとした話し合いのワークが行われました。最終回では、受講者自身が「町内会の多世代交流と親睦」をテーマにまちづくりの企画を立て、各自企画した内容をプレゼンテーションし、議論を深めました。



京都文教大学公開講座

アンケートより!

【第1回目】「みんなで話し合っただけ良かったです」「見る人の目によって「まちづくり」の色々を知りました」【第2回目】「話し合いの仕方ファミリテーターの活用方法など、活動の参考になりました」【第3回目】「活動の話し合いは参考になり、意見交代も出来ました」「時間が少なかったので、もっと講座時間があっても良かったです」とまちづくりの概要と手法、そしてゼミ形式での実施がみなさんから評価いただきました。

## 行政や企業と連携し、地域課題の解決に向けて 受託事業・補助事業について

地域における本学の教育、研究、社会貢献を一体化し、地域・学生・教職員を巻き込んだ総合的な取組を推進し、その成果を本学の教育活動や地域の発展に還元、寄与することを目的として2014年4月1日「地域協働研究教育センター」を設立しました。その事業の一環として、様々な地域課題に応えるため、本センターでは、行政や企業からの委託事業を受託しています。また委託事業以外にも、様々な助成を受けて、教員や学生たちがまちづくり活動に取組んでいます。

### 2017年度 受託事業一覧

	事業名	委託元	内容	対象地域
1	宇治市高齢者アカデミー	宇治市	地域社会に貢献できる人材の育成を目的に、「高齢者アカデミー」を開校する。	宇治市
2	宇治魅力発信プラットフォーム推進業務	宇治市	より魅力的な宇治市を築いていくためのプラットフォームの構築を推進する。	宇治市
3	宇治市政策共同研究	宇治市	宇治市ごみ減量推進課との共同研究「ごみ減量化に向けた大学リユース市に関する取組の研究業務委託」に取組む。	宇治市
4	宇治茶おもてなし事業	宇治観光まちづくり株式会社	JR宇治駅前での無料お茶接待によるおもてなしと観光案内サポート（多言語対応可）等を行う。	宇治市
5	向島ニュータウンまちづくりビジョン推進会議及び取組ワーキンググループの運営業務	株式会社地域計画建築研究所（京都市）	「向島ニュータウンまちづくりビジョン」の具体化に必要な支援を実施する。	京都市伏見区
6	宇治茶に関する古文書調査及び文化講座カリキュラム作成・開催業務（宇治茶文化講座）	京都府	宇治茶の世界遺産登録に向けての理解を促進し、機運を盛り上げるために、宇治茶文化講座を開催する。	京都府
7	宇治茶に関する古文書調査業務	京都府	宇治茶の世界遺産登録に向けての理解を促進し、機運を盛り上げるために、宇治茶に関する古文書調査を実施する。	京都府
8	南山城の文化資源一意義の究明と活用方策一に係る調査に関する業務	京都府立京都学・歴史館	南山城地域の豊かな文化資源の意義の究明をめざし、京都文化の発展と機能強化に資するため、調査研究を行う。	京都府

### 2017年度 補助事業一覧

	事業名	助成元	内容	対象地域
1	伏見区南部観光振興事業	京都市伏見区役所	伏見桃山・中書島において観光客の誘客をはかることを目的とした取組を地元団体や事業者と実施する。	京都市伏見区
2	平成29年度伏見区民活動支援事業	京都市伏見区役所	採択事業：「京都文教大学 多文化交流プロジェクト」（留学生支援や国際交流の促進を図る）	京都市伏見区
3	平成29年度まちコラボ（大学地域連携創造・支援）事業	京都市公益財団法人大学コンソーシアム京都	採択事業：「京都文教大学バスツアーズ」（高齢者に居場所づくりの一環としてバスツアー等実施）	京都市伏見区
4	1まち1キャンパス事業（本学単独申請分） 「ともいきキャンパスin宇治」で育む地域人材の育成	京都府	宇治の地域課題に取組む学生の活動を支援する。	宇治市
5	1まち1キャンパス事業（龍谷大学代表申請分） 仮想キャンパス構想による大学地域連携事業の拠点的展開（京丹後市）	京都府	大学地域連携事業の拠点的展開を進めている事業を支援する。	京丹後市
6	子どもの未来づくりサポーター活動支援事業	京都府	採択事業：「21世紀グローバルリキッズ育成プロジェクト」（留学生と子どもの交流を促進し、地域の子育て環境の充実を目指す）	京都市伏見区

## 2017年度 委託事業・補助事業

ピックアップ!

### 「宇治の魅力発信プラットフォーム事業」

委託者：宇治市

宇治市では、宇治に住むあるいは訪れる人々に、（1）宇治の魅力を発見し、（2）それを誰かに伝え、（3）さらに魅力を高める活動をしていただくことを目的にこの事業を2015年度から展開しています。本学では、それらのプラットフォームを作り上げるためのネットワーク作りや場づくりの支援を行っています。7月5日には、子育て世代の保護者の方を対象とした「子育て編」を実施し、「住みやすい宇治」「暮らしやすくなる宇治」について意見交換しました。参加者から、子育ての情報源について参加者同士で共有するとともに、宇治市の子育て支援に関する貴重なご意見も沢山頂戴しました。

<主な実施事項>7月5日「魅力発信プラットフォーム会議 子育て編」、9月5日「魅力発信プラットフォーム会議 若者編」、11月29日「魅力発信プラットフォーム会議 シニア編」、3月「魅力発信プラットフォーム会議 国際交流編」の実施とコーディネート業務など



委託事業

### 「向島ニュータウンまちづくりビジョン推進会議及び取組ワーキンググループの運営業務」

委託者：株式会社地域計画建築研究所（京都市）

昨年度より地域住民や事業所、行政とともに検討を進めてきた「向島ニュータウンまちづくりビジョン」が2017年3月に策定されました。「誰もが生き生きと暮らせる向島ニュータウン～暮らし心地を誇れる「多文化・多世代共生」のまち～」を目指すまちの姿として掲げ、まちづくり活動が推進されています。「向島ニュータウンまちづくりビジョン」に記載されている取組の推進と、継続検討が必要な取組についての検討を行うとともに、住民主体のエリアマネジメント組織の確立を図るため、推進会議と取組ワーキンググループ、タウンミーティング等の支援に取組んでいます。

<主な実施事項>「魅力発信・賑わい」「住環境」「暮らし安心」「子ども若者支援」などのワーキンググループの運営やワーキンググループによる調査活動、「タウンミーティング」の運営、コーディネート業務など



委託事業

### 「宇治茶に関する古文書調査及び文化講座カリキュラム作成・開催業務」

委託者：京都府

宇治茶の世界遺産登録に向けての理解を促進し、機運を盛り上げるために、宇治茶文化講座のカリキュラム作成及び古文書調査を実施しています。この事業の一環として行われる「宇治茶文化講座2017～宇治茶を学ぶ、宇治茶を楽しむ～」では、全6回の講座を行い、4講座以上を受講した方に対し、京都府より修了書を交付しています。

今年度の宇治茶文化講座では、初の試みとして1月20日に宇治田原町のフィールドワークを実施。「大福谷茶園」「永谷宗円の生家」「ゲストハウス」などを訪れ、宇治茶の歴史を学び、茶摘み体験と宿泊を活かした宇治田原ならではの観光についてお話を伺いました。

<主な実施事項>宇治茶文化講座（全6回）の企画立案ならびに実施、それに係るコーディネート業務、古文書調査業務（宇治茶に係る古文書「宇治堀家文書（現地調査等）」の調査研究と報告書の作成



委託事業

### 「1まち1キャンパス事業」【対象地：宇治市/京丹後市】

助成元：京都府

本学が申請し、2016年度より採択された『「ともいきキャンパスin宇治」で育む地域人材の育成』【対象地：宇治市】事業では、宇治市をフィールドとして取組む授業や研究活動の事業・プロジェクトに対し支援しています。今年度はその活動実績を評価され、11月22日に京都府議会議員による視察訪問が行われ、教員・学生が活動を報告しました。

また龍谷大学が代表校を務め大学間が連携し申請した「仮想キャンパス構想による大学地域連携事業の拠点的展開」【対象地：京丹後市】にも参画しています。学生たちが京丹後市の企業・事業所の見学などを行い京丹後市の魅力を改めて感じる機会となりました。

<主な実施事項>【宇治市】地域連携学生プロジェクトへの支援、宇治の地域課題を学ぶ授業への活動支援（観光・まちづくり/国際交流）、【京丹後市】京丹後の企業見学ツアーの実施（京丹後市の企業・事業所の見学、FMたんごへの番組出演など）



補助事業